



箱根町文化遺産活性化実行委員会
〒250-0315
神奈川県足柄下郡箱根町塔之澤 74(福住楼内)

監修 箱根町教育委員会



令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)を
活用して作成しています。

箱根のお祭りを春夏秋冬で
見てみよう。



「まはごね」
「つりのね」

はじめに introduction

箱根では、みなさんが暮らす地域ごとに、
様々な行事をして神様をお祀りしています。
箱根は小田原、御殿場、三島など周りの地域の人々と
古くから交流があって、
お祭りの特徴に似ているところがあります。

この本では地域のお祭りを季節ごとに紹介します。
みなさんも地域のお祭りに参加したり、見学したりして
地域の歴史と文化を学びましょう。



- 12月20日 煤払
- 12月20日～28日 餅つき
- 1月1日～6日 大正月
- 1月14日頃 サイト焼き
- 2月3日 箱根神社の節分追儺式



- 3月27日 諏訪神社の祭り(仙石原)
- 4月12・13日 箱根神社の祭り(宮ノ下)
- 4月15日前の土日 諏訪神社の祭り(宮城野)
- 4月16・17日 山神社の祭り(大平台)
- 5月4日 白山神社の祭り(湯本)
- 5月5日 公時神社の公時祭り(仙石原)
- 5月最終土日 山神社の五月祭り(湯本茶屋)



- 6月第一日曜 仙元山山開き(大平台)
- 7月14日・15日 天王祭(宮城野)
- 7月第二日曜 天王祭(湯本)
- 7月第三日曜 天王祭(仙石原)
- 7月31日 湖水祭(元箱根)
- 8月3日 駒形神社例祭
- 8月5日 鳥居焼祭(箱根)
- 8月15日・16日 箱根強羅夏祭り
大文字焼(強羅)



- 9月9日 湯場熊野神社の神湯祭(湯本)
- 9月15日 宮ノ下熊野神社例大祭(宮ノ下)
- 9月28日 三峰神社例大祭(元箱根)
- 11月3日 箱根大名行列(湯本・塔ノ沢)



一年はじまりお正月。

昔の人々はお正月を迎えるために、
身を清め、準備を行いました。

新しい年に神様（歳神様）をお迎えし、
豊かな一年（豊作）となるように願いながら。



～12月20日まで

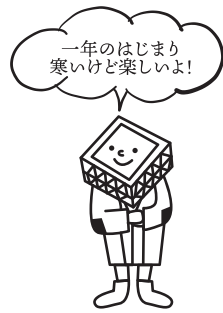
煤払い

お正月を迎える準備の始まりに、
家の煤を払い、清めます。



門松

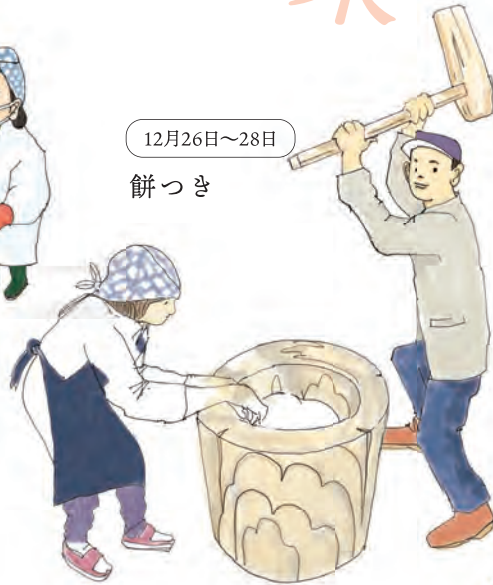
箱根には松を使わない
門松があります。
箱根では松は縁起が
悪いという言い伝えが
あるからかもしれません。



ねん
年
まつ
末

12月26日～28日

餅つき



元旦～六日

大正月

元旦から六日までを大正月といいます。
六日までに色々なお正月の行事をします。
初詣や書き初めをしたりします。

1月14日ごろ

サイト焼

道祖神の近くで、正月飾りなどを集め、高く積んで
焚きあげる火祭りです。「とんとん焼き」「どんと焼
き」「ドンド焼き」ともよばれています。
最近では道祖神の近くでは場所がないこともあり、
河原や広場に移ってお祭りをします。



しょう
正
がっ
月

三が日の食べ物

仙石原や宮城野ではヤマモのトロロを
かけた「おとろごはん」を食べると、
風邪をひかないという
言い伝えがあります。



オンベと小屋

お正月も4日をすぎると門松をはずしたり、お飾り
をはずしたりします。すると、子供たちが門松やお
飾り、半紙などを集めて家々をまわります。そこで集
めたものを使ってオンベと小屋を作ります。
道祖神を囲むように建てた小屋では子供達で集ま
ったり、モチを焼いて食べたりします。
また、道祖神やサイト(お飾りの山)にオンベを立て
たりします。



節分とは、季節を分ける日のこと。
立春(2月)、立夏(5月)、立秋(8月)、立冬(11月)があります。

2月3日

箱根神社の節分祭

箱根神社では節分追儺式といって、
芦ノ湖にある神社の第一鳥居から神社本殿へ行列をします。
行列のあと本殿で豆まきを行います。



道祖神には「石祠」「双体像」「単体像」「文字塔」「木祠」など
いろいろな形があります。自分の住んでいる所の道祖神はどんな姿をしているかな?

どんな道祖神があるかな?



石祠



双体像



単体像



文字塔



木祠



ゆ湯だて立し獅子子まい舞

神奈川県指定無形民俗文化財

国記録選択無形民俗文化財

仙石原と宮城野では湯立の獅子舞が奉納されます。
いずれも諏訪神社の境内で行われ、国から「記録
作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」と選ば
れる、とても珍しい獅子舞です。

1 宮舞

神を呼び起こす舞。獅子と後持(獅子の後ろの役)は、この舞のみ裸足で舞います。全体的に立った姿勢で舞うのが特徴です。



2 平舞

起きた神様を静める舞。獅子は後持が獅子の体を表す幕の中に入ります。(二人立ちといいます。)獅子と後持はこの舞から素足に草鞋をはいて舞います。内股でしなを作って舞うので、やわらかく女性的です。



3 剣の舞

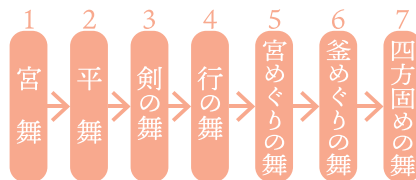
悪魔祓いの舞。獅子(舞方・後持)は草鞋をはき、左手に剣、右手に鈴を持ちます。力強い舞に変わります。(左右の膝頭をつけて舞うので仕草は女性的)



4 行の舞

水垢離の後、この舞から湯立の行に入ります。平舞に似て、この獅子の舞もやわらかく女性的な舞です。

仙石原の湯立獅子舞



5 宮めぐりの舞

神楽の関係者が湯釜のあるところから拝殿の前に移動します。獅子と脇役、塩振りの4人で集落に向かって、「湯冷ましの呪文」を唱えます。その後、拝殿の四隅をめぐる舞、宮めぐりの行を行います。この舞は非公開で行われます。



6 釜めぐりの舞

釜のある舞所に戻ります。獅子が舞うあいだ、ずっと「湯ざましの呪文」を唱えています。釜のまわりを舞います。釜へ向かって進むとき、右足を燃える火の中に踏み込みます。



7 四方固めの舞

「湯立の行」で村の中の悪魔や病魔が退散したので、再び、入って来れないように村の四方を固める舞。剣の舞は高い姿勢で舞い、勇ましく男らしい舞で力強いです。最後に湯を捨てて2時間の神事も終わります。

湯冷ましの法

熱湯を舞の力で冷ます神事です。幣束をもって大きく「風」の字を書き、湯をかき回します。そのあと両手に笹束を持って湯をかき回し、拝殿や氏子たちに湯をふりかけます



1 平舞

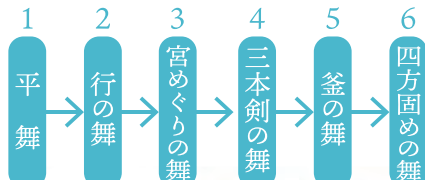
湯立の神事が始まったことを神々に告げる舞といわれます。社殿の中、獅子と後持は裸足で舞います。宮城野では一人立ちの場合でも後持が幕をもって獅子に従います。



2 行の舞

ここまで社殿で舞います。この獅子の舞もやわらかく女性的な舞です。

宮城野の湯立獅子舞

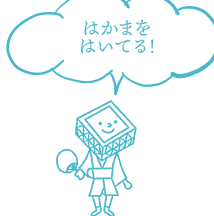


5 釜の舞

ここから湯立ちの行に入ります。この間、獅子と後持は常に湯冷ましの法言を唱えます。最初は二人立ち、続いて一人立ちの舞と続き、釜の周りを舞います。釜へ進むとき、右足を燃える火に向かって踏み込みます。

湯冷ましの法

熱湯を舞の力で冷ます神事です。幣束をもって大きく「風」の字を書き、湯をかき回します。そのあと両手に笹束を持って湯をかき回し、拝殿や氏子たちに湯をふりかけます



3 宮めぐりの舞

行の舞の後、社殿を降りて拝殿の前に移動します。二舞の後、獅子が剣をもって集落に向かい、法言を唱えます。その後、剣と鈴を持って獅子が社殿の四隅をめぐる、社殿を清めます。



4 三本剣の舞

宮めぐりの舞の後、釜の前へ移動する舞です。獅子と2名の計3名が剣と鈴をもって「七五三」の歩数で釜の前に到達し、釜の舞の準備に入ります。



6 四方固めの舞

再び社殿の中に戻って、舞われます。「湯立の行」で村の中の悪魔や病魔が退散したので、再び入ってこないように四方を固めます。勇ましく男らしい舞が力強く舞われます。この四方固めが終わったのち、湯釜の湯は観覧者へ配られます。

はる 春

春に祭りを行うのは、
農作業が忙しくなる前に行いたいから。
その年の豊作を祈って神様をお祀りします。
春には地域それぞれ
特徴のあるお祭りがおこなわれます。



4月12日・13日

箱根神社の祭り（宮ノ下）
芦ノ湖畔にある箱根神社の分社である宮ノ下の箱根神社のお祭りです。宮ノ下、底倉、堂ヶ島、小涌谷の人々が参加します。昭和10年に作られたみこしを大切に担いでいます。

4月16日・17日

山神神社の祭り（大平台）
大平台地区の氏神様として祀られています。大人みこし1基と子供みこし2基、そして子供たちが曳く山車がそれぞれ地域内を渡御します。

5月5日

公時神社の公時祭り（仙石原）
公時（金太郎）を祀っており、明治時代まではお祭りも盛んでしたが、一時衰えてしまったといわれています。昭和8年に5月5日を祭日として復活し、子供の健やかな健康を願ってお祭りが行われます。湯立獅子舞も奉納されます。

4月15日の前の土日

諏訪神社の祭り（宮城野）
宮城野地域の氏神様として祀られています。大人みこし1基と子供みこし2基、そして子供たちが曳く山車がそれぞれ地域内を渡御します。

5月4日

白山神社の祭り（湯本）
湯本地区の氏神様として祀られています。一つの神社で、地区内の山崎、神明町、仲町の3ヶ所がそれぞれおみこしと山車を出しているのは、箱根町内ではここだけです。

5月最後の日・月曜日

山神神社の五月祭り（湯本茶屋）
湯本茶屋地区の氏神として祀られ、地元では「さんじんさん」の名で親しまれています。祭日には神社のわきにある水神さんのお祭りも行います。みこしと山車が渡御します。



初夏の箱根は、田植えや草取りが一段落し、
豊作を祈る天王祭の季節です。
夏が深まり、芦ノ湖の龍神様を祀る行事が続ぎ、
賑やかな季節がやってきます。

なつ 夏



6月第一日曜日

仙元山山開き（大平台）

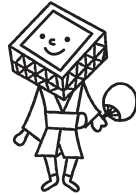
大平台の西にある浅間山(802m)の山開き。山頂にある仙元神社のお祭りです。大平台の登山口から山頂へ登山をして、お詣りし、登山の安全をお祈りします。江戸時代に富士山を信仰する「富士講」が行われました。富士山の登ると不老長寿になるといわれ、富士山に登れない人は近くの「浅間山」に登ることで願いがかなうと言われていました。大平台の仙元山山開きにもこの「富士講」の名残があります。山開きの時に神社に持ってゆくご神体は富士山の形をしています。

7月第二日曜日

天王祭（湯本）

天王神社は山崎の集落の北東の丘にあります。お祭りの時に必ずきゅうりの酢の物を食べます。天王祭の日前にはきゅうりを食べてはいけないという習わしがあるためです。天王神社の境内には牛頭天王の碑があります。山崎の人々は村に伝染病が入ってこないように天王神社が守ってくれると信じていました。

きゅうりの酢の物にもしきたりがあるんだね。



てん 天 のう 王 さい 祭

7月第三日曜日

天王祭（仙石原）

諏訪神社と一緒に祀られる天王社のお祭りです。この日は大人、子どものみこしが地域内を渡御しますが、この時、獅子もみこしと一緒に地域内を回ります。みこしが宮入を終えた後、獅子が早舞（七舞）を奉納して、祭りが終わります。



7月14日・15日

天王祭（宮城野）

諏訪神社境内にある津島神社のお祭りです。宮城野ではこの時に湯立獅子舞が奉納されます。前日の夜の辻みから当日の朝の十二舞、そして湯立獅子舞奉納の後、末社めぐりと二日間かけて行われる大変な行事です。



7月31日

湖水祭（元箱根）

箱根神社境内の九頭竜神社正宮からスタートします。お赤飯をおひつつめて、行列をつくり芦ノ湖へ。芦ノ湖の湖上で宮司がこのおひつを湖に沈め、九頭竜に捧げます。湖上で神事が終わると花火や夜店がならび、お祭りを楽しまします。

8月3日

駒形神社例祭（箱根）

駒形神社が祀られる箱根地区の芦川は、鎌倉～室町時代の頃、「箱根権現」に関わる人たちが住んでいたと言われる歴史のある地域で、江戸時代には箱根宿の一部として栄えました。お祭りは毎年こどもみこしが出て、大人みこしは2年に一度、5日の「鳥居焼き祭り」の時に合わせて出ます。

8月5日

鳥居焼祭（箱根）

箱根地区の龍神祭です。昔は駒形神社のお祭りの一部で「かんたたき」と言われていました。鳥居を2基地元の人たちでつくり、芦ノ湖上の火をつける場所まで船で運び、夜を待ちます。そして、駒形神社で鳥居に火を付ける松明の火を起こします。その後、行列は神社から芦ノ湖へ。小舟で鳥居の場所までゆき、鳥居に火を付けると、花火大会が始まります。

りゅう 龍 じん 神 の

万巻上人の伝説

芦ノ湖畔にある箱根神社は、町内ではもっとも伝統のある神社です。天平宝字元年(757年)に万巻上人によって創建されたと伝えられています。「万巻」の名は、「一万巻のお経を読んだ」ので付けられたといわれています。また、箱根山中で修業中、芦ノ湖の毒竜を改心させ、芦ノ湖の守り神「九頭竜」として祀ったと伝えられ、毎年行われる湖水祭では、赤飯をこの九頭竜に奉納しています。

まつり

箱根の水の神様だね!



あき 秋

仙石原のススキがきれいに黄金色に染まるころ、箱根の秋が深まります。
9月には温泉に感謝するお祭りを行います。
そして、9月が終わるころ、お祭りの時期が終わります。
そろそろ、次の年をむかえる準備の始まりです。

9月9日

湯場熊野神社の神湯祭（湯本）

9月15日

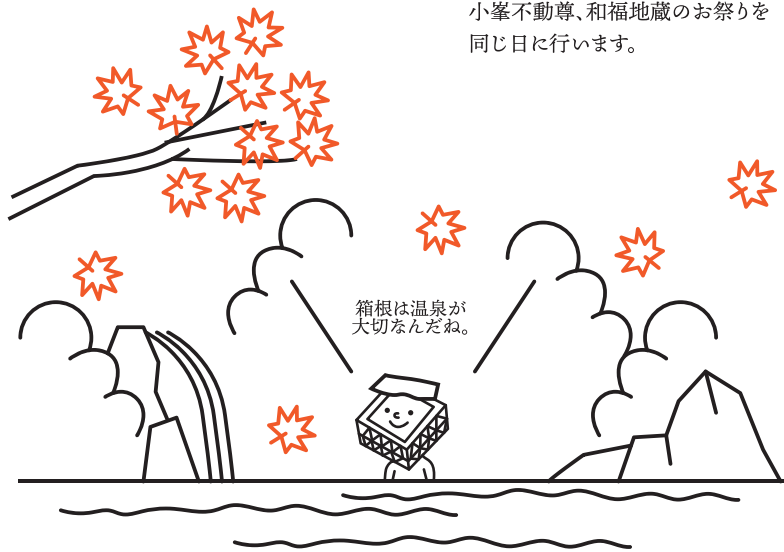
宮ノ下熊野神社例大祭（宮ノ下）

熊野神社は「温泉の神様」といわれています。
江戸時代、箱根にあった箱根七湯(湯本・塔之澤・
宮ノ下・堂ヶ島・底倉・木賀・芦之湯)のほとんどに
「熊野権現」がありました。
「湯場湯本温泉の神湯祭」では、旅館やホテルの方々が
自分の温泉を神社に持ちより、温泉がたくさん湧き出ることと、
商売繁盛を願います。
「宮ノ下熊野神社」では、箱根神社から宮司さんをまねいて
神事をおこないます。

9月28日

三峰神社例大祭（元箱根）

椿公園のなかにある三峰神社と
小峯不動尊、和福地藏のお祭りを
同じ日に行います。



8月15日・16日

箱根強羅夏祭り
大文字焼（強羅）

明星ヶ丘山頂の近くに「大」の字が
盂蘭盆会(お盆)の送り火として灯されます。
強羅からの眺めがいいので
多くの観光客もおとずれます。
「大」の文字はハコネダケを
かわかしてたばねたものを350個もつけて
文字になるようになります。
「大」の大きさは横108メートル、
文字の太さは7メートル以上もあります。

11月3日

箱根大名行列

箱根大名行列は約80年の歴史があり、
箱根の秋の名物です。
湯本小学校校庭を出発して、
旧東海道を通り、
湯本富士屋ホテルまで行列します。
昭和10年(1935年)湯本で
開催された「箱根観光博覧会」の
出し物として始まりました。

そ
其の
乃
ほか
外
の
まつり
祭

大名行列に
参加したいなあ

